

# 勝利の鍵は、育苗にあった 苗作りのルーティンワーク!



農林水産省登録 粉剤：第22773号  
液剤：第22774号

殺菌剤分類 32.4

# タチガレエース<sup>®</sup>M

粉剤・液剤

## タチガレエース<sup>®</sup>M 粉剤

は種前  
育苗箱土壤に混和

1kg入  
パック



125 枚分<sup>※1</sup>

3kg入  
パック



375 枚分<sup>※1</sup>

※1) 育苗箱1箱(土・約5ℓ)あたり8g使用した場合

## タチガレエース<sup>®</sup>M 液剤

は種時または発芽後  
土壤灌注

100ml  
ボトル



100 枚分<sup>※2</sup>

500ml  
ボトル



500 枚分<sup>※2</sup>

※2【上手な使い方】育苗1枚あたり、タチガレエースM液剤1ml分が灌注されるように使用。  
例) 500倍で使用する場合は500mlの薬液を灌注。1000倍で使用する場合は1000mlの薬液を灌注。

ヒドロキシイソキサゾール・  
メタラキシルM 粉剤・液剤



【密苗試験\*】タチガレエースM液剤 500倍・500ml/箱 播種時土壤灌注  
\*播種量…380g/箱(催芽粉)、300g/箱(乾粉)



農林水産省「稲発酵粗飼料  
生産・給与技術マニュアル」  
に記載された農薬です。  
(育苗箱での使用に限る)



三井化学クロップ&ライフ  
ソリューション株式会社

水稲用植物成長調節剤・殺菌剤

# タチガレエース<sup>®</sup>M 粉剤・液剤

タチガレエースは三井化学クロップ&ライフソリューション(株)の登録商標です



- 苗立枯病に対して、優れた効果があります。
- ムレ苗防止にも有効です。
- 根の生育促進効果で、根量が増え、根毛がびっしり生えます。
- 移植時の発根、活着促進に優れています。
- 冠水や水ストレス、また除草剤による薬害の影響を受けにくくなります。

【2023年7月20日現在の登録内容】

## タチガレエース M粉剤

農林水産省登録 第22773号  
ヒドロキシソキサゾール…4.0%  
メタラキシルM…0.25%  
毒性：普通物\*



作物名	適用病害名 使用目的	使用量	使用時期	本剤の 使用回数	使用方法	ヒドロキシソキサ ゾールを含む 農業の総使用回数	メタラキシル及び メタラキシルMを含む 農業の総使用回数
稲 (箱育苗)	苗立枯病(ピシウム菌) 苗立枯病(フザリウム菌) ムレ苗防止 根の生育促進	育苗箱(30×60×3cm、 使用土壌約5ℓ)1箱 当り6~8g	は種前	1回	育苗箱土壌に均一 に混和	3回以内(移植前 の土壌混和は1回 以内、移植前の土 壌灌注及び灌注は 合計2回以内)	4回以内(移植前 の土壌混和は1回 以内、育苗箱への 灌注は1回以内、 本田では2回以内)
稲 (湛水直播)	根の生育促進による 苗立の安定	乾籾重量の3%			過酸化カルシウム 剤に添加して種籾 に粉衣する。	1回	3回以内(種もみへ の処理は1回以内、 本田では2回以内)
さとうきび	根腐病	5kg/10a	植付時		植溝土壌混和	1回	1回

### 注意事項

- 本剤を稲の苗立枯病に使用する場合、ピシウム菌、フザリウム菌には有効であるがリゾプス菌その他による苗立枯病には効果が劣るので注意してください。
- ムレ苗防止に使用する場合、吸水と蒸散の不均衡によって起こるムレ苗に対して有効であるので、このようなムレ苗の発生する地域で使用してください。
- 本剤を稲に使用する場合、使用量が多すぎると初期生育が一時抑制される場合があるので、使用量を誤らないように注意してください。
- 本剤を育苗箱土壌に混和する場合はなるべく播種直前に行ってください。
- 本剤を稲に使用した場合、草丈の高い品種や、播種量の多い条件下では生育後期に苗が伸びすぎることがあるので育苗管理に注意してください。
- 過酸化カルシウム剤に添加して使用する場合は十分混合して種籾に湿粉衣してくだ

- さい。又、過酸化カルシウム剤の使用上の注意事項を厳守してください。
- 本剤の使用に当たっては、使用量、使用時期、使用方法を誤らないように注意し、とくに初めて使用する場合には病害虫防除所等関係機関の指導を受けることをおすすめします。
- 本剤は眼に対して刺激性があるので眼に入らないよう注意してください。眼に入った場合には直ちに水洗し、眼科医の手当を受けてください。
- 使用の際は農業用マスク、不浸透性手袋などを着用してください。作業後はうがいをするにも水洗してください。
- かぶれやすい体質の人は取扱いに十分注意してください。
- 直射日光を避け、なるべく低温で乾燥した場所に密封して保管してください。

【2023年7月20日現在の登録内容】

## タチガレエース M液剤

農林水産省登録 第22774号  
ヒドロキシソキサゾール…30.0%  
メタラキシルM…2.0%  
毒性：普通物\*



作物名	適用病害名 使用目的	希釈倍数	使用液量	使用時期	本剤の 使用回数	使用方法	ヒドロキシソキサ ゾールを含む 農業の総使用回数	メタラキシル及び メタラキシルMを含む 農業の総使用回数
稲 (箱育苗)	苗立枯病(フザリウム菌) 苗立枯病(ピシウム菌) ムレ苗防止 根の生育促進 移植時の活着促進	500~ 1000倍	育苗箱(30×60×3 cm、使用土壌約5ℓ) 1箱当り500mℓ	は種時 又は 発芽後	1回	土壌灌注	3回以内(移植前 の土壌混和は1回 以内、移植前の土 壌灌注及び灌注は 合計2回以内)	4回以内(移植前 の土壌混和は1回 以内、育苗箱への 灌注は1回以内、 本田では2回以内)
稲 (湛水直播)	苗腐病(ピシウム菌)	2.5~5倍	乾燥種籾1kg当り 30mℓ	は種前		鉄コーティング 種子に吹き付け 処理	1回	3回以内(種もみへ の処理は1回以内、 本田では2回以内)

### 注意事項

- 使用量に合わせ薬液を調製し、使いきってください。
- 本剤を稲の苗立枯病に使用する場合、ピシウム菌、フザリウム菌には有効であるがリゾプス菌その他による苗立枯病には効果が劣るので注意してください。
- ムレ苗防止に使用する場合、吸水と蒸散の不均衡によって起こるムレ苗に対して有効であるので、このようなムレ苗の発生する地域で使用してください。
- 苗腐病に使用する場合、乾燥種籾に鉄コーティング処理をした後、は種2日前~は種当日に所定量を噴霧器で均一に付着するよう吹き付けてください。吹き付け処理した種籾はビニール袋等で密閉して保管し、速やかに使用してください。
- 本剤を使用する場合、使用量が多すぎると初期生育が一時抑制される場合があるので、使用量を誤らないように注意してください。
- 本剤を使用した場合、草丈の高い品種や、は種量の多い条件下では生育後期に苗が伸

- びすぎることがあるので育苗管理に注意してください。
- 本剤は自動車、壁などの塗装面、大理石、御影石に散布液がかかると変色する恐れがあるので、散布液がからまないよう注意してください。
- 本剤の使用に当たっては、使用量、使用時期、使用方法を誤らないように注意し、とくに初めて使用する場合には、病害虫防除所等関係機関の指導を受けることをおすすめします。
- 原液は眼に対して強い刺激性があるので、薬液調製時には保護眼鏡を着用して薬剤が眼に入らないよう注意してください。眼に入った場合には直ちに十分に水洗し、眼科医の手当を受けてください。
- かぶれやすい体質の人は取扱いに十分注意してください。
- 火気を避け、直射日光が当たらない低温な場所に密栓して保管してください。

○使用前にはラベルをよく読んでください。 ○ラベルの記載以外には使用しないでください。 ○本剤は小児の手の届く所には置かないでください。 ○容器・空袋などは圃場などに放置せず、適切に処理してください。 ○防除日誌を記載しましょう。

\*本製品は農業用殺菌剤であり、製品ラベルの記載内容以外には使用しないでください。

\*本印刷物は2023年7月20日現在の資料、情報、データ等に基づいて作成していますが、記載データ及び評価はあくまでも測定値の代表例であり、全ての事例に当てはまるものではありません。

取扱い



三井化学クロップ&ライフ  
ソリューション株式会社

東京都中央区日本橋1-19-1日本橋ダイヤビルディング  
ホームページ <https://www.mc-croplifesolutions.com>